



## 2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東  
 コード番号 7826 URL <https://www.furuyametals.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員財務・経理部長(氏名) 尾高 尚徳 TEL 03-5977-3377  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日~2025年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	23,201	66.9	3,410	23.1	3,356	42.0	2,328	43.1
2025年6月期第1四半期	13,899	37.2	2,770	35.6	2,363	15.2	1,627	13.7

(注) 包括利益 2026年6月期 第1四半期 2,341百万円(48.4%) 2025年6月期 第1四半期 1,577百万円(8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	94.76	94.45
2025年6月期第1四半期	66.26	66.03

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	117,047	64,561	55.0
2025年6月期	123,864	64,580	52.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 64,424百万円 2025年6月期 64,441百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	96.00	96.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	0.00	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	11.5	10,000	4.8	9,000	△4.1	6,000	△7.2	244.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期1Q	25,389,636株	2025年6月期	25,389,636株
2026年6月期1Q	813,595株	2025年6月期	813,595株
2026年6月期1Q	24,576,041株	2025年6月期1Q	24,553,389株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢につきましては、国内経済は、堅調な設備投資を背景に緩やかな回復傾向にあります。エネルギー・原料価格等の高止まりや為替変動が企業収益に対する不確実性要因となっております。海外経済は、貿易摩擦や米中関係をはじめとする地政学リスク・政策不透明感の高まりにより、グローバルな供給網及び投資行動ならびに為替及び原材料価格に与える影響が顕在化しつつあります。当社は、世界的な需給変動・貿易環境の変化・為替・貴金属価格といったマクロ変数を注視しつつ、デジタル及びグリーン分野に提供する製品の高付加価値化、安定供給体制の強化ならびにバランスシートコントロールなどを通じて、変動に強い経営体制の構築を進めております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高23,201百万円(前年同四半期比66.9%増)、売上総利益4,451百万円(前年同四半期比18.1%増)、営業利益3,410百万円(前年同四半期比23.1%増)、経常利益3,356百万円(前年同四半期比42.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,328百万円(前年同四半期比43.1%増)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### ① セグメント別の業績

##### [電子]

医療用シンチレーター(放射線にあたり、蛍光を発する物質)の単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が堅調に推移するとともに、データセンター間の光通信用アイソレーター(順方向に進む光のみ透過し、逆方向の光を遮断する部品)の光学結晶育成装置向けイリジウム及びプラチナ製ルツボの受注が好調に推移しましたが、スマートフォン用SAWデバイスのリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注回復の足取りは依然重く、売上高1,952百万円(前年同四半期比27.3%増)、売上総利益320百万円(前年同四半期比54.6%減)となりました。

##### [薄膜]

旺盛なデータセンター投資を背景に、記憶媒体として使用されるHD(ハードディスク)向けスパッタリングターゲットの受注は引き続き好調に推移するとともに、半導体向けターゲットの受注が伸長し、売上高2,651百万円(前年同四半期比7.6%増)、売上総利益1,262百万円(前年同四半期比55.4%増)となりました。

##### [サーマル]

半導体製造向けの底堅い交換需要に加えて、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーの投資再開や在庫調整局面の一段落から受注回復基調に転じ、売上高1,402百万円(前年同四半期比31.4%増)、売上総利益408百万円(前年同四半期比23.1%増)となりました。

##### [ファインケミカル・リサイクル]

化学プラント向け化合物や有機EL向け化合物の受注に回復の兆しが見え始める一方で、苛性ソーダ製造等に使用される電極向け貴金属化合物の受注が、最終顧客の仕様変更及び市場停滞により受注が減少し、売上高4,081百万円(前年同四半期比43.9%減)、売上総利益934百万円(前年同四半期比52.7%減)となりました。

##### [サプライチェーン支援]

貴金属価格の上昇を背景に、当社製品の受注に関係しない貴金属原材料についての需要が高まり、売上高4,927百万円(前年同四半期比332.0%増)、売上総利益449百万円(前年同四半期比は59百万円の損失)となりました。

#### ② 海外売上

当第1四半期連結累計期間における海外売上高は18,942百万円(総売上高に占める割合は81.6%)となりました。地域別にはアジア向け売上高11,980百万円(海外売上高に占める割合は63.2%)、欧州向け売上高は4,608百万円(海外売上高に占める割合は24.3%)、北米向け売上高は2,353百万円(海外売上高に占める割合は12.4%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は117,047百万円(前連結会計年度末比6,817百万円の減少)、総負債は52,485百万円(前連結会計年度末比6,799百万円の減少)、純資産は64,561百万円(前連結会計年度末比18百万円の減少)となりました。

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は92,858百万円となり、前連結会計年度末比6,849百万円減少いたしました。これは、未収消費税等が2,121百万円増加しましたが、現金及び預金が5,366百万円、原材料及び貯蔵品が5,649百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は24,188百万円となり、前連結会計年度末比32百万円増加いたしました。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は40,781百万円となり、前連結会計年度末比5,771百万円減少いたしました。これは支払手形及び買掛金が5,623百万円減少したことが主な要因であります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は11,703百万円となり、前連結会計年度末比1,028百万円減少いたしました。これは長期借入金が977百万円減少したことが主な要因であります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は64,561百万円となり、前連結会計年度末比18百万円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益が2,328百万円ありましたが、配当金を2,359百万円支払ったことにより、利益剰余金が30百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年11月6日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,047	7,680
売掛金	3,451	4,123
受取手形	143	162
商品及び製品	4,146	5,137
仕掛品	5,599	5,499
原材料及び貯蔵品	72,648	66,998
未収消費税等	498	2,619
デリバティブ債権	—	435
その他	174	201
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	99,708	92,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,463	4,507
機械装置及び運搬具(純額)	9,459	9,295
土地	3,009	3,009
リース資産(純額)	496	440
建設仮勘定	1,860	1,974
その他(純額)	187	183
有形固定資産合計	19,477	19,410
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	2,952	3,202
その他	47	50
無形固定資産合計	2,999	3,253
投資その他の資産		
投資有価証券	52	52
繰延税金資産	1,478	1,322
その他	150	151
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,679	1,524
固定資産合計	24,156	24,188
資産合計	123,864	117,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,343	16,719
未払金	2,942	3,110
短期借入金	13,400	14,400
1年内返済予定の長期借入金	4,374	4,324
未払法人税等	1,125	951
資産除去債務	—	71
賞与引当金	494	127
役員賞与引当金	111	—
設備関係未払金	256	206
リース債務	123	124
デリバティブ債務	124	—
その他	1,256	747
流動負債合計	46,552	40,781
固定負債		
長期借入金	10,826	9,849
退職給付に係る負債	980	1,003
資産除去債務	42	—
長期末払金	401	401
リース債務	467	436
その他	13	12
固定負債合計	12,731	11,703
負債合計	59,284	52,485
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,662	10,662
資本剰余金	12,348	12,348
利益剰余金	42,654	42,623
自己株式	△1,287	△1,287
株主資本合計	64,377	64,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	81	90
退職給付に係る調整累計額	△18	△15
その他の包括利益累計額合計	64	76
新株予約権	77	77
非支配株主持分	61	60
純資産合計	64,580	64,561
負債純資産合計	123,864	117,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,899	23,201
売上原価	10,129	18,750
売上総利益	3,769	4,451
販売費及び一般管理費	999	1,040
営業利益	2,770	3,410
営業外収益		
受取家賃	5	5
為替差益	2,076	—
デリバティブ評価益	—	560
その他	2	16
営業外収益合計	2,084	581
営業外費用		
支払利息	278	270
為替差損	—	352
デリバティブ評価損	2,196	—
その他	16	13
営業外費用合計	2,491	636
経常利益	2,363	3,356
税金等調整前四半期純利益	2,363	3,356
法人税、住民税及び事業税	564	873
法人税等調整額	173	154
法人税等合計	738	1,028
四半期純利益	1,625	2,328
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,627	2,328



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,625	2,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△42	9
退職給付に係る調整額	△6	2
その他の包括利益合計	△48	12
四半期包括利益	1,577	2,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,579	2,341
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直し、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第1四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「原材料及び貯蔵品」が205百万円増加し、「機械装置及び運搬具」が212百万円減少しております。また、「仕掛品」が102百万円減少し、「建設仮勘定」が109百万円増加しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
	増減額(百万円)	増減額(百万円)	増減額(百万円)
商品及び製品	△57	185	—
原材料及び貯蔵品	△228	△95	205
仕掛品	△438	13	△102
機械装置及び運搬具	172	△228	△212
建設仮勘定	552	124	109

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケ ミカル・リ サイクル	サプライチ ェーン支援	計		
売上高								
日本	956	596	544	2,648	15	4,760	8	4,768
アジア(日本以外)	10	1,409	471	50	602	2,545	415	2,960
欧州	—	94	5	2,825	522	3,447	—	3,447
北米	566	364	45	1,746	—	2,722	—	2,722
顧客との契約から 生じる収益	1,533	2,464	1,067	7,270	1,140	13,476	423	13,899
外部顧客への売上高	1,533	2,464	1,067	7,270	1,140	13,476	423	13,899
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,533	2,464	1,067	7,270	1,140	13,476	423	13,899
セグメント利益 又は損失(△)	704	812	331	1,972	△59	3,761	7	3,769

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に仕入製品等の販売であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ファインケ ミカル・リ サイクル	サプライチ ェーン支援	計		
売上高								
日本	1,023	614	735	1,574	265	4,213	44	4,258
アジア(日本以外)	10	1,378	625	0	3,775	5,790	6,190	11,980
欧州	228	270	15	1,419	723	2,658	1,950	4,608
北米	690	387	26	1,087	162	2,353	—	2,353
顧客との契約から 生じる収益	1,952	2,651	1,402	4,081	4,927	15,015	8,185	23,201
外部顧客への売上高	1,952	2,651	1,402	4,081	4,927	15,015	8,185	23,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,952	2,651	1,402	4,081	4,927	15,015	8,185	23,201
セグメント利益	320	1,262	408	934	449	3,374	1,076	4,451

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない仕入商品および製品等の販売であります。当第1四半期連結累計期間において、サプライチェーン支援用の商品在庫を超える強い引き合いに対応するため、イリジウム・ルテニウムについて、原材料在庫からの貴金属販売を実施しました。その結果、原材料在庫からの貴金属販売における売上高は7,858百万円、売上総利益は1,036百万円となり、それぞれが「その他」のセグメントに含まれております。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	309百万円	294百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。